

## 2019年度 地域連携活動報告書

連携先名称：新潟県佐渡市

協定締結日：2009/5/28

活動状況：継続中

連携先窓口：佐渡市企画課 松本亜沙美氏

活動資金：研究室予算

担当教員（所属）：新部昭夫（国際バイオビジネス学科）

活動体制（単位）：学科

関連教員（所属）：井形雅代、鈴木源太郎（国際バイオビジネス学科）

田中裕人（食料環境経済学科）、上岡美保（国際食農科学科）

活動目的：農業体験を通じた農家交流

活動内容・成果：

### 1. 佐渡における農業実習

経済学科 田中ゼミ

6月10日～16日の期間で、学生20名がフィールド研修（農業実習）を行った。

### 2. ワーキングホリデーとしておけさ柿の収穫

11月6日～11日 佐渡市羽茂地区を中心に、小木、相川、新穂、畑野、真野の9戸の農家で収穫実習を行った。

参加学生は、バイオビジネス学科の男子学生11名、女子学生11名の合計22名、教員は3名参加した。

活動の内容は別紙「活動のしおり」を参照。



2019.11.5版

【教員用】

# 東京農大

鈴木ゼミ・井形ゼミ・山田ゼミ

## 2019年度

# ワーキングホリデー佐渡 参加のしおり

2019年11月6日～11日

国際バイオビジネス学科

## 佐渡ワーキングホリデー実習行程表

行 程		
11/6 (水)	<p>22:50 バスタ新宿4F 集合</p> <p>23:20 WILLER EXPRESS H5152便 出発 (内訳：男子11人、女子11人) 計22人</p> <p>宿泊：車中泊</p>	<p>山田先生・鈴木先生 新幹線(とき331号)</p> <p>16:16 東京発</p> <p>18:16 新潟駅着</p>
11/7 (木)	<p>5:30 新潟駅南口到着</p> <p>各自朝食 →新潟駅前よりバスにて佐渡汽船へ (suica利用可)</p> <p>8:10 新潟駅前発→8:25 佐渡汽船着</p> <p>8:25 新潟駅前発→8:40 佐渡汽船着</p> <p>8:50 乗船手続き開始</p> <p>9:20 カーフェリー乗船 (学生料金は前日までに要予約) (学生団体24名)</p> <p>11:50 両津港到着</p> <p>12:30 レンタカー借受 (8人乗りワゴン)</p> <p>12:30 バス・レンタカーでトキ交流会館へ (現地最終確認、長靴借用、集合写真撮影)</p> <p>◆ミニバン①：学生5名乗車 (斎藤農園さん→石塚さん)</p> <p>◆ミニバン②：学生3名乗車 (斎藤 (英) さん→大場さん)</p> <p>◆マイクロバス：学生14名乗車 (加藤さん→佐々木さん→金子さん→中川 (治) さん→中川 (忠) さん→青木さん)</p> <p>農家で実習 (18:00 レンタカー借換 (8人乗りワゴン→小型車) )</p> <p>宿泊：農家泊</p>	<p>井形先生 新幹線(Maxとき303号)</p> <p>7:04 東京駅発</p> <p>9:02 新潟駅着</p> <p>9:10 新潟駅→9:25佐渡汽船</p> <p>9:40 JF新潟港出発</p> <p>10:45 JF両津港到着</p>
11/8 (金)	<p>各農家にて終日実習</p> <p>宿泊：農家泊</p>	
11/9 (土)	<p>各農家にて終日実習</p> <p>宿泊：農家泊</p>	
11/10 (日)	<p>午前中各農家にて実習</p> <p>9:00 レンタカー借換 (小型車→10人乗りワゴン)</p> <p>15:00 佐州おーやり館集合</p> <p>16:00～17:30 反省会・情報交換会 (あいかわ開発総合センター)</p> <p>18:00 夕食・懇親会 (あいかわ開発総合センター)</p> <p>宿泊 佐州おーやり館 (学生22人 (男11人、女11人)、教員3人=計25人、2,700円)</p>	
11/11 (月)	<p>6:30 起床・朝食</p> <p>8:00 宿出発</p> <p>9:00～10:00 JA羽茂おけさ柿共同選果場 見学</p> <p>10:20 JA羽茂おけさ柿共同選果場見学 出発</p> <p>11:20 両津港着 (12:00まで レンタカー (10人乗りワゴン) 返却)</p> <p>11:20～12:10 昼食</p> <p>12:10 乗船手続き (学生団体25名)</p> <p>12:40 フェリー両津港発</p> <p>15:10 フェリー新潟港着</p> <p>15:20 バス佐渡汽船発 → 15:32 バス新潟駅着</p> <p>(学生22人 男11人、女11人) (井形・山田) (鈴木)</p> <p>WILLER EXPRESS H5206便 新幹線MAXとき332号 空港バス 15:50新潟駅→16:15新潟AP</p> <p>17:15 新潟駅南口前出発 16:09 新潟駅発 ANA520 17:25新潟AP→18:35伊丹AP</p> <p>23:00 新宿駅南口着 18:00 東京駅着</p>	

# 選果場について



<参考：選果場とは [https://www.yanmar.com/jp/agri/maintenance/knowledge/fruit\\_sorting.html](https://www.yanmar.com/jp/agri/maintenance/knowledge/fruit_sorting.html) >

## 作業工程の様子<JA羽茂おけさ柿共同選果場>



生産者が収穫した柿は各集落の集荷場へ出荷され、大きなトラックで選果場へ持ち込まれます。選果場では渋抜きをして、右写真のようにベルトコンベアで選果機までコンテナのまま運ばれます。運ばれてきた柿はコンテナから出し、人の目で選別され、中に混入されている傷の大きい柿や病虫害を受けた柿（集荷規格外の柿）を没収します。

その後5面カメラで1個ずつ自動選別されます。

カメラで選別した柿は赤秀・秀・優とサイズ別に分けられ、箱詰機へ運ばれます。機械でダンボール箱に詰められ、大きなコンテナやトラックで北海道、東北、京浜、大阪、県内の取引市場へ出荷され、全国各地の店で販売されます。

選果場は9月末から11月中旬ころまでの季節稼働となります。

<参考：JA羽茂HP <https://www.ja-hamochi.or.jp/guidance/34/>>

## ワーキングホリデー参加者申し合せ留意事項

- ・ **受入農家には必ず事前に連絡をとり、挨拶をしておくこと。**農家の普段の生活に入るので、食べられない物（アレルギー情報など）がある場合や聞きたいことがある場合は、電話で質問すること。お互いに遠慮があると、本当の交流ができず、双方が不完全燃焼になります。
- ・ 農家が忙しいときに応援する援農（農業サポーター）なので、**お客様扱いはされません。**また、作業内容によって、作業時間が早朝や夜間に及ぶ場合もあるため、作業内容についても質問があれば事前に聞いておくこと。
- ・ 農作業に必要な用具（軍手など）は農家で用意してもらえます。長靴はトキ交流会館での貸出あり。
- ・ 農家に泊まり、農作業を行います。
- ・ 普段の農家の生活に入るため、期間内は農家の生活にあわせて生活すること。
- ・ 農作業時は、動きやすく汚れてもかまわない服装にし、運動靴、雨かっぱ等を用意すること。柿の収穫は、雨天でも作業を行う可能性があるそうです。
- ・ タオル類、シャンプー、リンス、寝巻き、帽子、洗面用具、着替え、常備薬、健康保険証など自身の身の回りのために必要なものを各自で用意すること（持ち物欄を参照）。
- ・ 基本的に、**夕飯時のお酒等は、農家では用意しないことになっています。**出されても飲みすぎ等で農家へ迷惑がかからないよう十分注意すること。
- ・ 食事は各農家で用意し、いただきます。また、この機会に田舎の農家の料理を一緒に作り、覚えることも良いと思います。
- ・ 受入農家は、参加者が農作業に不真面目な取り組み、参加者の行為により受入農家の生活に多大な支障をきたした場合は、ワーキングホリデーの参加を中止し、帰宅させます。
- ・ 健康保険証またはその写しを必ず持参すること。基本的にケガ、疾病での病院等の診療費用は自己負担です。参加者は学生共済保険（入学時に加入しているもの）に加入しているので、身体に不調をきたした場合は、必ず農家さんに相談し、鈴村に連絡すること。
- ・ 調査票については、農家さんの時間の都合を伺いながら、期間内に30分～1時間程度、適宜聞き取りを行ってください。